

## 不動化パパイン (アガロース樹脂)

Cat. No. NATE-1864

Lot. No. (See product label)

## はじめに

*□明* 

不動化パパインは、さまざまなIgG種からFabおよびFcフラグメントを生成するのに便利で す。パパインは、活性部位にチオール基を持つ非特異的なチオールエンドペプチダーゼであ り、活性のためには還元型でなければなりません。IqG分子がシステインの存在下でパパイン とインキュベートされると、ヒンジ領域の1つ以上のペプチド結合が切断され、2つのFabフラ グメントと1つのFcフラグメントという、同□のサイズの3つのフラグメントが生成されます。 Fcフラグメントは、不動化プロテインAを使用するか、イオン交換クロマトグラフィーによっ てFabフラグメントから分離できます。 50,000DaのFcフラグメントは、抗原結合の干渉なし にFc受容体の特異性を決定するためによく使用されます。免疫グロブリン分子とFc受容体の相 互作用は、細胞の生理を調節するのに役立ち、Fc受容体機能の□化は特定の疾患の発症や進行 を引き起こす可能性があります。FC受容体と免疫グロブリンの相互作用を追跡することで、細 胞表面認識の媒介と活性化の現象を研究することができます。 Fabフラグメントは、フラグメ ントが完全なIgGよりも組織に浸透するため、免疫組織化学的研究において有用です。また、 免疫グロブリンのFab部分のみを使用することで、Fc受容体からO非特異的結合を回避できま す。 不動化パパインを使用することで、最終製品に酵素の汚染を伴わずにフラグメントを生 成できます。不動化は、熱□性や自己分解に□する酵素の安定性を高め、活性の維持を長くしま す。切断は、消化時間やカラムを通過する流量によって調整できます。不動化パパインは、希 薄な小体積のタンパク質に□して効果的で、再現性のある消化物を生成します。

**別名** 不動化パパイン

製品情報

*形態* 50% スラリー(総容量10mL)を50% グリセロール、0.1M 酢酸ナトリウム、pH 4.4で、

0.05% ナトリウムアジ化物を含む。

**EC**番号 EC 3.4.22.2

**活性** パパインのミリグラムあたり**16-40 BAEE**単位の不活化前。

*濃*度 250 $\mu$ g パパイン/mL の沈殿したゲル

保管・発送情報

*保存方法* 受領後は $4^{\circ}$ Cで保管してください。製品は常温で出荷されます。